No.	チェック項目			/ 具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)													
		基本	チャレン ジ					6 7	8 Q massilus	9 ① 京京と技術を新の	10	11 11 (LORITORS	12	13	14 1// #02##86	15	16 FREWEE	17
					İşİşİ	A SACI		T EUTOP-SE	O RAKEE	3 88(5)(5)	10 €4<€5	↑ # # # # # # # # # #	DA (vic 31	13 дипсиже	14 %55 ***********************************	\$\frac{1}{2} \times \ti	TO TATOLE	17 /1-65-297¢
1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	•		得意先、仕入先の繋栄は紙弘の繁栄なり(初代社長 深浦弘)』を社内					8	9								17
2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組み を構築している。	•					V										16	
3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	•									10						16	
4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署など の体制を整備している。	•		・コンプライアンスチェックは総務部で対応し、セキュリティ対策はシス テム情報課で対応している。													16	0
5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	•		・知的財産権を侵害する恐れのある取引はお断りしている。 ・肖像権/商標権/著作権に関する社内勉強会で従業員への啓発をして いる。					8.2 8.3	9								
6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	•															16	
7	・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホル ダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消 費者、投資家等及び社会全体)	•		にて全社共有し、いただいた要望/期待等を事業活動改善に役立てて													16	17
8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		•				5		8		10		12	13	14	15	16	17
9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP) を策定し、訓練や見直しを行っている。		•							9		11		13.1			16	17
10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		•	・後継者の指導・育成を目的に、仕入先主催の経営者育成セミナーへ参加させている。 ・取引銀行主催の若手経営者セミナーに参加させている。					8	9								17
11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		•		1 2		5		8				12	13	14	15	16	17
12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	•		メントの禁止)し、相談窓口を設置し差別や人権侵害が無い事を確認し		4.2 4.2 4.1	3 5.1 4 5.2 5 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り 組んでいる。	•		に取り組んでいる。 ・年少者及び妊産婦においては就業規則にて個別に就業制限(高所作					8.8									
14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応して いる。	•		し公正な待遇を行っている。			5.5		8.5		10.2 10.3							
15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の 両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	•		等の変更)(休職・復職)などの規程を定め、柔軟な働き方の実現を推進			5.5		8.5 8.8		10.3							
16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	•		・外部の研修会や講習会などへの参加を推奨し、受講費用の負担や資 格免許に対する手当の支給などを行っている。		4	5.5		8	9								
17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向 上等に取り組んでいる。	•		での共同受診もしくは個人での受診にて実施、基本料金は会社で負担している。 ・管理職にはメンタルヘルスの研修を受講させ、部課員のストレス チェックをを行い、メンタル不調を未然に防ぐ取り組みをしている。 ・年間を通してウォーターサーバーを設置し、熱中症対策として水分補					8									17
18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍でき る環境の整備に取り組んでいる。	•				4.4	4 5.1 5.5		8.5		10.2 10.3						16.7	
19	ワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		•	office365の導入などにより、在宅ワーク、直行直帰、時差出勤、 web会議の活用をしている。 ・事業所内では、飛沫防止用のパーティションや検温モニタ及び消毒液					8	9.1		11	12					
20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により 業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		•	・外交員を中心に1名に1台モバイルPCとスマートフォンを貸与。SNSツールによる情報共有を行い外出先からの業務効率化を図っている。					8	9.1		11	12					
21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		•			4			8	9			12					
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18	「内部管理体制]	1	1	1	1	1	1		No.	Page	Page 1975 Pa		Page		Mathematical Property Math	1	「日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

	No.	チェック項目				主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)										
分類			基本	チャレン	(小事未省が心戦する)()()	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15										
						2 世紀 3 MAN CHARK 4 MAN CHARK 5 MAN CHARK 5 MAN CHARK 6 MAN CHARK 7 MAN CHARK 8 MAN CHARK 9 MAN CHARK 10 CHARCET 11 MAN CHARK 12 CHARK 13 MAN CHARK 14 MAN CHARK 15 MAN CHARK 15 MAN CHARK 15 MAN CHARK 15 MAN CHARK 15 MAN CHARK 15 MAN CHARK 15 MAN CHARK 15 MAN CHARK 15 MAN CHARK 16 MAN CHARK 16 MAN CHARK 17 MAN CHARK 17 MAN CHARK 18 MAN CHARK 10 CH	16 TRESTE 17 HETERS									
	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	•		・事業で発生する廃棄物に関して、適宜分類し有資格の専門回収業者 に回収を委託している。	3.9 6.3 11.6 12.4 14.1 15.	1									
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に 取り組んでいる。	•		【予定】2022年10月より取り組み予定 簡易計算シートを使用してエネルギー使用量を把握し、照明のLED化 を行い電力消費量の削減に取り組みます。	7.3										
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでい る。	•		【予定】2022年10月より取り組み予定 簡易計算シートを使用して温室効果ガスの排出量を把握し、事務機器 をCO2排出の少ない機種に替えることで排出の抑制に努めます。	7.2 7.3 7.a 12.4 13 14 15										
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないよう に配慮している。	•		・事業の1つであるウォーターサーバー事業において、ボトルリターナル方式を採用し、ボトル再利用によるプラスチックの使用減、ペットボトルの利用減の活動を行っている。	6.6										
環境	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	•		・要保存情報の電子化に取り組んでいる。 ・本業の1つの印刷用紙販売時に発生する古紙を分別しリサイクル回収 業者に回収依頼している。 ・本業の1つである洋紙販売において、再生紙の販売に力を入れてい る。	9.4 12.2 14.1 15 12.5										
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	•		・節水に取り組んでいる。 ・事業所内水洗設備を節水型で利用している。	6.3 2.4 6.4 11.5 14.2 15	17									
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グ リーン購入、リサイクル製品認証等)。	•		・グリーン購入法に適合した環境配慮商品を購入し販売している。 ・九州の間伐材を利用した「木になる紙」を購入し販売している。	9.4 12.4 13 14 15										
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		•		2 6.4 12.3 14 15	17									
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		•	・敷地内に植栽(高木4本、低木多数)をしている。 ・花壇を設けて、季節の花の植栽をしている。	11.6 11.7 13.3	17									
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可 能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		•	・太陽光パネルを設置し再生可能エネルギーの利用と供給をしている。	7.1 7.2 7.3 7.3 7.a										
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを 推進している。		•		6 9.4 11.3 15 11.5 13 15										
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		•		6.1 6.3 11.4 12.2 13 15										
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚 染の防止削減に貢献している。		•	・全国でペットボトル50億本削減目標のTEAM EXPO2025 ステ ハジプロジェクトに参加している。 具体的には、給水スポットの提供を行いペットボトルの利用本数を削減 することで海洋ゴミを減らす活動に参加している。	12.2 12.5										
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車 などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		•		9.4 11.2 13.1 13.3										
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組 んでいる。		•		7.1 7.2 7.3 7.3 7.a	17.2									

事業者名: 株式会社 紙 弘

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目			主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
			基本	チャレン	具体的な取組み	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
				9	(※事業者が記載する欄)		2 #ME	3 がべての人に 健康と福祉を	4 州の高い教育を	5 ジェンダー平等を 実現しよう	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 *****-*******************************	8 Marine Marine	9 産業と技術事業の 基盤をつくろう	10 APBORTES	11 #ARHONS	12 つくる 青任	13 茶株文物に 日本の名が報告	14 %onese (95)	15 #08#26 #25	16 PRODUCE -	17 //->>>>
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	•		・製品の入出庫時、配送納品時に安全確認を発声して行い、周囲への安 全告知と品質確認をおこなうようにしている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環 境整備を行っている。	•		・事業の1つである文具事務用品販売において、ユニバーサルデザインを採用した商品を率先して提案販売している。 ・事務所の作業スペースはバリアフリーであり、OAフロアを採用して配 線接触による危険を軽減している。									9.1	10	11.7				0	0	17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		•			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木 質化を推進している。		•								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んで いる。		•		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、 地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		•			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	•		・地域事業者として、地域防災活動や自治会活動に参画している。 ・従業員に対し、居住する地域の活動に参画するように奨励している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	•		・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・従業員にハザードマップを周知している。				4							11.5		13.1			16	
持続可	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急 等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加し ている。		•		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
能な	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		•	・感染対策用品や風水害対策用品などの防災関連商品の仕入・販売を 促進している。									9		11	12	13.1				
社会・地方創生	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGs の普及啓発や教育機会の提供を行っている。		•	・顧客や従業員に対し、SDGs関連商品の勉強会を開催するなどSDG sの普及啓発や教育機会の提供をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域 の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		•					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		•					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産 業従事者の確保に取り組んでいる。		•			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

25 25